



ルミネメイトの制服は、役目を終えたらどうなる?

春冬の2シーズンで衣替えするルミネメイトの制服。着用の期間を終えた制服を前に、破棄しないでどこかで活かせる方法はないかを私たちは考えました。

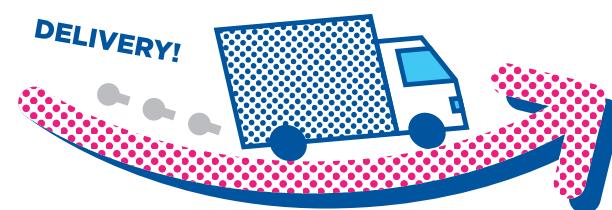
READY!



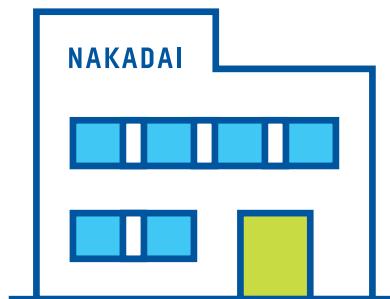
LUMINEの制服寄付プロジェクト

Presented by choroko

ルミネが新たに挑戦するのは、ルミネメイトの制服のリユース＆リサイクル。ここから、幸せな循環がはじまります。



相談に応えてくれたのは、廃棄処理業のナカダイさん。制服は彼らのプロの目で、状態のいいものとそうでないものにしっかりと仕分けされます。



ナカダイって?

総合リサイクル業として培ったノウハウを活かし、モノの流れの最適化と環境負荷の低減を行う廃棄物処理会社。日本の一般廃棄物リサイクル率は20.4%（平成27年度環境省）という中、ナカダイは、99%のリサイクル率を達成。どうしたるリユースや環境に負担をかけずに廃棄物処理ができるのかを教えてくれる先生のような存在でもあります。

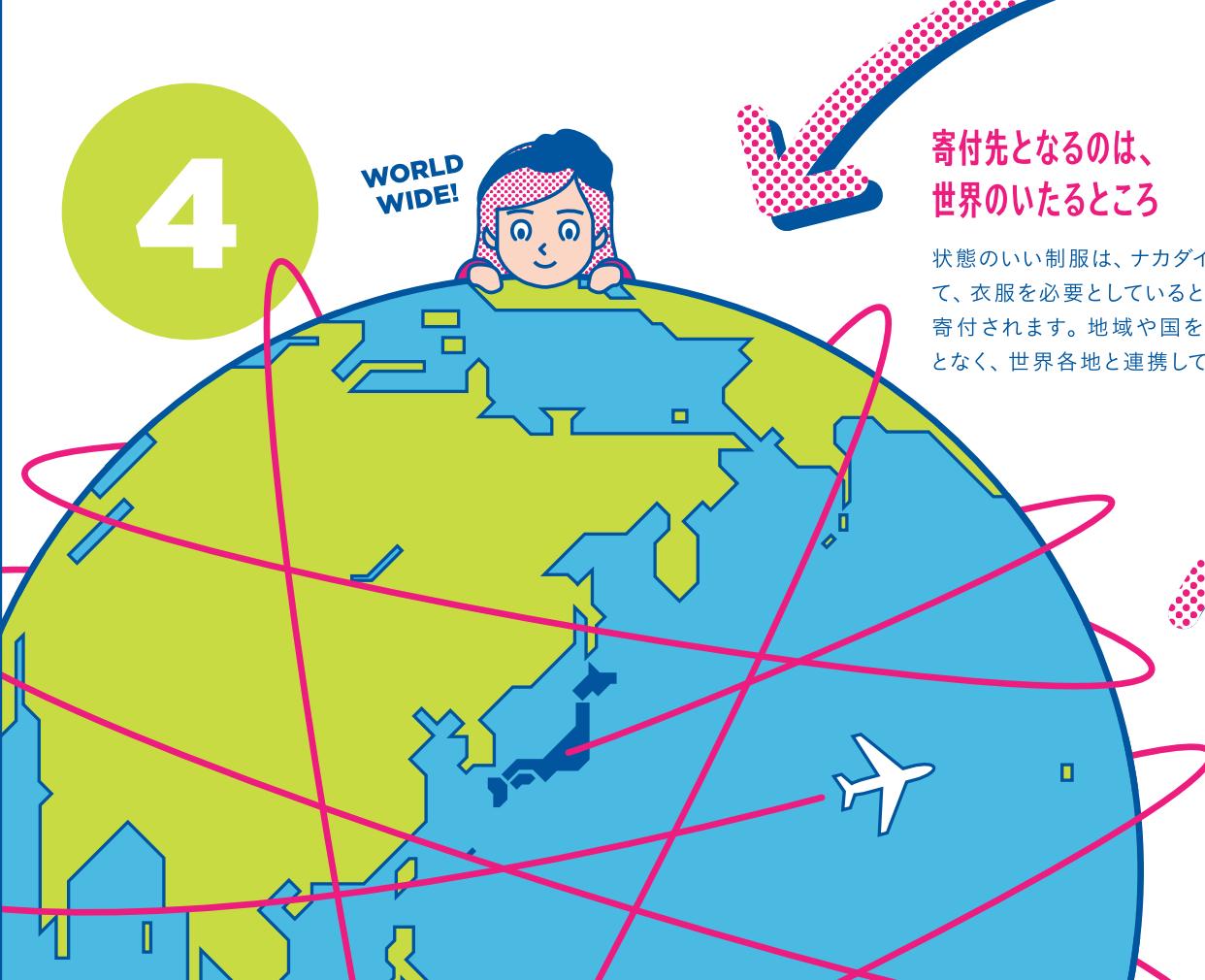
ル ミネの「顔」として、お客さまにさまざまなサービスを提供する、ルミネメイトの制服。まだ着用できる制服を、廃棄するのではなく、どこかで活かすことができたら、と私たちは考えました。これまで制服を焼却し、その際に発生するエネルギーを利用する、サーマルリサイクルを行ってきましたが、きれいな状態の制服をそのままリユースする方法を開拓しました。同じ思いのもと、このチャレンジに協力してくれるのが、モノの流れの最適化と環境負荷の低減を行う廃棄物処理のプロ、「ナカダイ」のみなさんです。ルミネメイトの制服は、99%のリサイクル率を達成するプロの目で仕分けられ、汚れや破れがあるものは、石油などの代替燃料の原料として利用されます。本当に必要な場所へ、必要なものを届けたい。ルミネは、みんなが笑顔になるような、新しいリサイクルのスキームづくりをはじめます。



まだ着用できる制服は日本から旅立ちます

状態のいいものは、必要としている人々に届けてリユース、そうでないものは熱量に。この方法だと、無駄なく制服をリユース＆リサイクルできるのです。

GO!



状態のいい制服は、ナカダイさんを通じて、衣服を必要としているところへ直接寄付されます。地域や国を限定することなく、世界各地と連携していきます。



ルミネの制服の旅は、まだまだ続く!

制服は世界の子どもや若者たちのもとに到着。送られる側と送る側、お互いの笑顔を見届けられる関係をもっと広げていきたい、と私たちは思っています。

choroko
ルミネ環境推進プロジェクト

choroko(choroko)とは、「みんなで新しい暮らしの価値を。」をコンセプトに、ルミネが2011年から取り組んでいる環境活動のこと。“choroko(choroko)”は、スワヒリ語で緑豆を意味する言葉。モノを長く大事に使うこと。季節の変化をちゃんと感じること。人との関係を丁寧に大切に築いていくこと。そんな、当たり前のことだけれど大切にしていきたいことを積み重ね、継続した先に、環境や社会に良いライフスタイルがあるのだと思います。まだ小さな取り組みではありますが、みんなを巻き込んで、一緒に考えながら続けていくこと。それが、ルミネの目指すエシカルな活動です。

わたしらしくをあたらしく
LUMINE